

# 友の会通信

2004  
Vol.  
**10**

～ 群馬県立自然史博物館友の会 ～



木の葉化石園で園長が説明

## 博物館等視察研修会

2003年11月16日(日)実施 視察先 栃木県立博物館・木の葉化石園

県外の博物館などを視察研修する「博物館等視察研修会」を、11月16日に実施しました。参加者は、多数の希望者の中から抽選で選ばれた45名の会員と館長はじめとする館職員5名でした。視察先の栃木県立博物館では、友の会役員や館職員から友の会活動や博物館についての説明・解説員による展示解説を聞かせていただきました。また、木の葉化石園では園長自ら露頭の説明をしていただいたり化石原石から化石を取り出す体験をさせていただいたりしました。会員の交流もはかれ、楽しく充実した研修会となりました。

**博**

博物館は開館から21年を経ているためか、安定期の感があり、静かで広々とした館内でした。また、展示についてはスロープ展示がユニークで日光地方の動植物をわかりやすく展示し、床の動物の足跡にも興味津々でした。ただ、鳥の剥製については、実物の色とは少々かけ離れていました。木の葉化石園では、貴重なシオパラガエルの化石に感動しました。今回特に子供たちが多く、子供は自然に関心が強いと感じるとともに、晩秋の一日子どもに戻りました。

寺崎 廣(会員番号15-023)

**興**

味深い施設見学と化石採りだしの実践もでき、とても楽しい一日でした。博物館の大きな木の実拾いも面白かったです。また、ゆっくりいってみたいと思います。日の長い頃だと研修時間も、もう少しゆとりがもてるのではと思いました。

館沢 礼子(会員番号15-603)

**化**

石の取り出し体験がとても良かった。博物館の企画展も良かった。時間も場所もとても良いと思います。機会があれば、また行きたいと思います。

岡野 ななみ(会員番号15-101)小6





栃木県立博物館(解説員による説明)

毎

回視察先を見つける事務局の方は大変ご苦労なさっているだろうと思いながら参加させてもらっています。時期的には適当だと思います。場所は出来れば、あまり有名でない所の方が面白いかもしれませんね。それと、これは賛否両論ありますが、自己紹介等をするとうれいかな?と思いました。

栃木県立博物館は植生を解説したスロープ展示がわかり易かったです。日光白根山は昔登ったことがあったので、ジオラマが懐かしかったです。でも、展示内容は群馬の自然史の方が良いかなと思いました。木の葉化石園はたぶん個人では行くことはなかったろうと思われる施設だったので良かったです。出来れば、もう少し地層のところをまじかで見られると良かったです。

岡野 宏巳(会員番号15-099)

と

ても楽しく良かったと思います。特に化石の取り出し体験は子供が嬉しかったようです。時期は今くらいの季節が天候が安定していていいですね。

昨年はクジにハズれてしまい行けませんでした。今回は運良く当たりましたが、他の方々十数名行けなかったと思います。全員希望者は行けるといいですね。大変だとは思いますが、バス2台必要ですからね。

岡野 弘行(会員番号15-055)



木の葉化石園(植物化石の取り出し)

た

いへんお世話になり、ありがとうございます。お蔭様で楽しいバスの旅となりました。自分ではなかなか足を延ばすことが出来ない所に設定していただき、親子ともども楽しめたことに感謝しています。「化石がとりたいたい」という子供の要望で入会した友の会ですが、理科だけでなく、社会的な質問にも答えられるよう、親も勉強しなくてはいけなくなってきました。

サービスエリアの休憩が、あと5分でもあると、ゆとりが持てたかもしれません。県立博物館がもう少し見たかったです。

友成 佐智子(会員番号15-183)

昼

食の時間の関係で仕方ないとは思いますが、博物館にあと一時間くらい時間があればゆっくり見られたと残念でした。また、木の葉化石園では、時間をもてあまし気味だったので、館長さんなど化石のくわしい方の解説が聞ければ、もっと理解が深まったと思います。

佐藤 薫(会員番号15-514)

県

立博物館は、群馬の森を東から入ったような感じで、大きく大変素晴らしく感じました。木の葉化石園は小規模であったけれど、展示資料も以外に多く、実習もあって良かったと思います。大きな資料館の場合は、自由に、じっくり観覧できる時間が一時間位は欲しい気がします。30分位ですと集合時間が気になります。

先方の友の会事務局長さんの話では、本会の参加者に子供が多いことに驚いたとの事、一般的に友の会は社会教育法の趣旨に添って作られるためか、大人だけの会が普通ようです。当館の友の会は、その点では特異で、他から注目される会だと思います。

ただ、いつも気にかかることの一つに、解説員が展示解説中に、子供が解説などのボタンを押してしまうことです。これは、やはり止めさせたい事ではないでしょうか。

富岡 清(会員番号15-529)

近

県の博物館を訪ねる旅を企画して頂き、各県の特徴がでていて、楽しく参加させて頂いております。特に館長の長谷川先生には、いつもご同行下され、感激しております。今回の栃木県立博物館は丁寧な解説をして頂き、見落としがなくて良いですね。時間があと30分多く、木の葉化石園では30分短くて良いように思いました。

これからは、遠距離になるでしょうが、できたら、千葉、神奈川、山梨等もお願いしたいです。

古屋 京子(会員番号15-546)

## 担当より

たくさんのご意見・ご感想ありがとうございました。バスの座席やマナー、旅程の時間配分などのご指摘を次回に生かしていきたいと考えております。

# 露頭観察・化石採集会「900万年前の板鼻層を調べよう」

2003年11月9日(日)実施

春の観察会に続き今回も集合時間まで小雨混じりの天気でしたが、次第に回復し11月としては暖かな日に実施できました。露頭の減少から化石の採集が難しくなっていますが、今回の高崎市寺尾町の雁行川にはまだ豊富に貝化石が露出していました。講師を友の会運営委員の森平利政さん、角田寛子さんと博物館の野村正弘専門員にお願いし、化石の採集だけでなく、地層の働き方や当時の環境の推定の仕方など露頭に触れながら学習するフィールドワークになりました。小雨の中19名もの参加者が集まり、どろんこになみながら化石を採集している子も多数出るほど、熱の入った学習会となりました。



地層から当時の環境を推定



貝化石の取り出し

- 友の会入会の大きな動機になったのが「化石採集会」です。参加できてよかったです。「化石だけでなく、きちんと地層の勉強も...」というアドバイスも参考になりました。
- 子供はもちろん、こういう体験をせずに大人になった、我々のような大人はけっこう居ると思いますが、とても楽しめると思います。
- 書いてはあったのですが、長靴は絶対に必要と強くインフォメーションして下さい。  
友成 佐智子(会員番号15-183)
- いろいろなことを教えてもらって楽しかった。化石をほったことがないので、ますます楽しかった。  
友成 ゆう介(会員番号15-184)9歳
- ちょうど今、学校の理科で、地層と化石について勉強しているところだったので、とてもおもしろかった。寒くもなく暑くもなく、よい時期で場所もよかったです。  
北川 道啓(会員番号15-505)11歳

## 第20回企画展

# 「毒と薬 - 毒をあやつる生きものたち -」展示解説会

2003年11月1日(土)実施 解説者 学芸グループ 大森 威宏 指導主事

第20回企画展の主担当である大森指導主事に講師をお願いしました。友の会会員はわずか12名しか参加者はおまませんでしたが、植物に大変詳しい講師から、初歩的なことから専門的なことまで、展示物を見ながら伺うことができ、充実した解説会となりました。



先日、企画展「毒と薬 - 毒をあやつる生きものたち -」を見に行った際「展示解説会」の日程と講師が大森先生であることを知りました。大森先生とは以前、野反湖周辺と一緒に歩いた時、植物の説明をしていただき知識の豊富さと研究にける情熱に感動しました。ですから、大森先生の解説を非常に楽しみにしていました。

展示解説会の日には、家族で出かけました。長女は「5メートルを超えるニシキヘビは人間を飲み込むことがあることを知り怖かった。」と語り、また毒は薬にもなることを知り感動していました。次女は「ヘビは毒を持っていないと思っただけ、毒を持っていると知りびっくりした。エラブウミヘビはコブラの仲間だけれど、毒は魚には効くけれど、人間には効かないんだね」とびっくりしていました。

私は、水仙や玉すだれ、夾竹桃、福寿草が毒草だということを知り、身近にも毒があることを再認識しました。また、漢方薬の多くは科学的には立証されていないものが多いという話を聞き驚きました。

展示解説会は家族にとって非常に実り多い時間となりました。このような機会を提供してくれた大森先生及び「友の会」のスタッフの方々大変ありがとうございました。

吉田 満(会員番号15-094)

## イベント紹介



ダイヤモンドの原石

## 第21回企画展「地球の贈り物の鉱物資源」

会期:3/20(土)~5/9(日)

場所:企画展示室

鉱物についての基礎的な内容や過去に多数稼働した群馬の鉱山とその産出鉱物、また地下資源として石油・石炭・天然ガスなどを中心に紹介します。この企画展を通して、いかに鉱物資源が身近な存在であり、私たちの日常生活を支えているかを知っていただくとともに、鉱物のもつ多彩な魅力に触れていただければと考えます。さらに、「地球の贈り物」である資源の大切さについて、改めて考えていただくきっかけとなることを願っています。

## 第21回企画展記念講演会「資源の現状と未来」

日時:2004年3月28日(日)午後1時30分~午後3時30分

講師:吉川和男(群馬大学教授) 会場 博物館学習室

定員:100名(先着順) 2月28日より電話で受付

## 友の会第21回企画展展示解説会

日時:2004年3月28日(日)午前10時30分~午前11時20分

講師:学芸グループ指導主事 金澤芳彦

定員:25名(先着順) 2月28日より電話で受付

## 8月までの主な友の会イベント

5 May

- ・友の会総会
- ・友の会講演会「なぜ飛べなくなったアンナカコバネハクチョウ - 1200万年前の謎 -」講師 館長 長谷川善和

7 July

- ・自然観察会
- ・第22回企画展展示解説会

## 出版物の紹介

New

「地球の贈り物の  
鉱物資源」

第21回企画展図録

販売開始日2004.3.20

一般 500円 会員 450



## 自然だより 会員の声をお寄せ下さい

ウグイスやホトトギスなどの初音、ツバメやモンシロチョウなどの初見など気づいた自然の営みを、日時・場所・天候・コメントなどを添えてお届け下さい。また、会員の皆さんに紹介したいことや会の運営やあり方などの「会員の声」もお待ちしています。

受付期間はありません。いつでも結構です。多くの方の投稿を心よりお待ちしております。

## 「友の会」更新手続き・入会手続きを・・・

これからも友の会ならではの楽しい企画を行っていきます。友の会の輪にお入り下さい。

### 入会による特典

博物館の入館無料

博物館からの情報配布

友の会行事への参加

ミュージアムショップの割引

### 年会費

一般.....**3,000**円

高大生.....**2,000**円

小中生.....**1,000**円

家族.....**5,000**円

賛助.....**20,000**円

## 会員名簿

家族会員 松本 卓

個人会員 山本 晃 鳥羽千太郎 女部田延代

藤巻 素直 高橋 功一

賛助会員 群馬トヨタ自動車株式会社

順不同 敬称略 (158.11以後入会者)

記念すべき、友の会通信第10号のお届けです。今回も各イベントの感想を多くの会員の方々に寄せ頂きました。私は残念ながら研修会も化石採集会も、参加することができませんでしたが、回数を重ねるごとに参加者も増え、にぎやかな会になってきたと実感しています。今後はさらに会員同士の交流も深めていけるような企画を盛り込みたいと考えています。目指せ!友の会通信100号!

刻持雅信(友の会通信編集委員)

編集  
後記

## 博物館利用案内

・開館時間

午前9時30分~午後5時(ただし入館は午後4時30分まで)

・休館日

毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は、火曜日)・年末年始

・観覧料

一般500円 高大生300円

中学生以下、障害者とその付添者1名は無料 企画展開催中は別料金